

プッシュマスター樹脂ヘッダー（NJヘッダー）専用ワンタッチ金属架台取扱説明書

プッシュマスター樹脂ヘッダーは専用架台で固定して下さい。施工方法は下記に従って下さい。

1. サイズ・仕様

■ ワンタッチ金属架台セット 保温材無ヘッダー用 低台

品番	分岐口数	セット内容		
		金属プレート		バンド
		NJ-MP	NJ-MPL	NJ-MCB
NJ-MCS	2～5	1		2
NJ-MCM	6	1		3
NJ-MCL2	7～8		1	3
NJ-MCX2	9		1	4
NJ-MCY2	10～11	2		4
NJ-MCZ2	12	2		5

■ ワンタッチ金属架台セット 保温材付ヘッダー用 低台

品番	分岐口数	セット内容		
		金属プレート		バンド
		NJ-MP	NJ-MPL	NJ-MHB
NJ-MHS	2～5	1		2
NJ-MHM	6	1		3
NJ-MHL2	7～8		1	3
NJ-MHX2	9		1	4
NJ-MHY2	10～11	2		4
NJ-MHZ2	12	2		5



■ ワンタッチ金属架台セット 保温材無ヘッダー用 高台

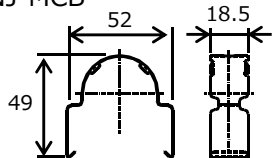
品番	分岐口数	セット内容		
		金属プレート		バンド
		NJ-MPH	NJ-MPHL	NJ-MCB
NJ-MCSH	2～5	1		2
NJ-MCMH	6	1		3
NJ-MCL2H	7～8		1	3
NJ-MCX2H	9		1	4
NJ-MCY2H	10～11	2		4
NJ-MCZ2H	12	2		5

■ ワンタッチ金属架台セット 保温材付ヘッダー用 高台

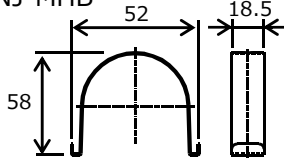
品番	分岐口数	セット内容		
		金属プレート		バンド
		NJ-MPH	NJ-MPHL	NJ-MHB
NJ-MHSH	2～5	1		2
NJ-MMH	6	1		3
NJ-MHL2H	7～8		1	3
NJ-MHX2H	9		1	4
NJ-MHY2H	10～11	2		4
NJ-MHZ2H	12	2		5

*ビスは含まれませんので、下地条件に合わせたものをご用意ください。

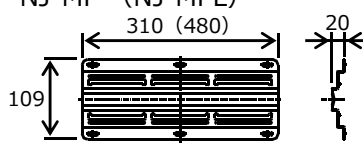
【保温材無ヘッダー用バンド】
・NJ-MCB



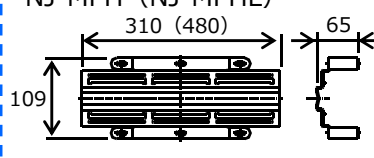
【保温材付ヘッダー用バンド】
・NJ-MHB



【低台 金属プレート】
・NJ-MP (NJ-MPL)



【高台 金属プレート】
・NJ-MPH (NJ-MPHL)



2. 施工方法

- 1 金属プレート固定位置の墨出しをして、固定する下地材に下穴をあけ、4点でビス固定する。



- ・下穴加工の際は墨出しをしてから、ドリル作業を行ってください。
- ・ビスは下地条件に合わせたものをご使用下さい。（コンクリート下地の場合は、下穴加工の後、Φ4～5×32mmのコンクリートビス（なべ）の使用を推奨します）

- 2 樹脂ヘッダー（NJヘッダー）をプレート中央に載せ、バンドで樹脂ヘッダー連結部を固定する。保温材無ヘッダー用バンドはスリット内側の折返しに、保温材付ヘッダー用バンドはスリット外側の細い部分に折り返しを引っかけて固定する。

【保温材無ヘッダー用】



【保温材付ヘッダー用】



- 【手順3】
プレート内側の折返しに引っかける
*必ず、片側ずつ取り付けて下さい。

- ・保温材（回転式）付ヘッダーは保温材の切目をテープで留めてから固定して下さい。
- ・樹脂ヘッダー両端が架台からはみ出さないように中央に寄せて固定して下さい。
- ・バンドの間の分岐口数が3口以内になるピッチで固定して下さい。（固定位置は裏面を参照ください）

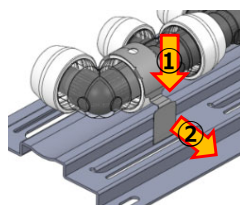
- 3 設置完了。
（金属プレートでヘッダー全体を支える構造）



3. バンドの取り外し 方法

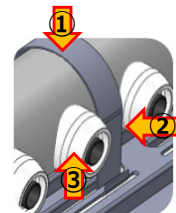
【保温材無ヘッダー用】

- ① 水平部分をしっかりと押し込む。
- ② 水平部分を押し込んだまま、側面を手前に引っ張る。



【保温材付ヘッダー用】

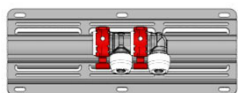
- ① バンドを押し込んでスリットから折り返しを外す。
- ② バンドを内側に押さえつける。
- ③ ゆっくりとスリットからバンドを持ち上げる。



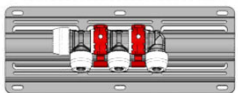
（裏面もご覧下さい⇒）

4.各分岐口数でのバンド固定位置

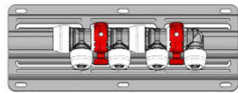
(分岐口数) 2口 (支持個数) 2個



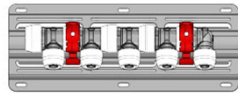
(分岐口数) 3口 (支持個数) 2個



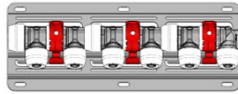
(分岐口数) 4口 (支持個数) 2個



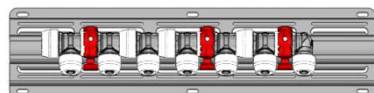
(分岐口数) 5口 (支持個数) 2個



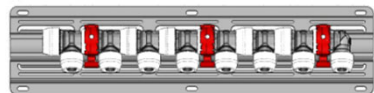
(分岐口数) 6口 (支持個数) 3個



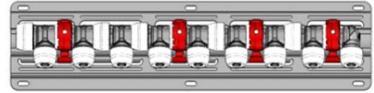
(分岐口数) 7口 (支持個数) 3個



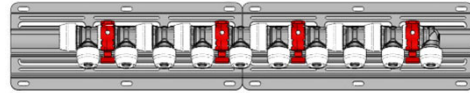
(分岐口数) 8口 (支持個数) 3個



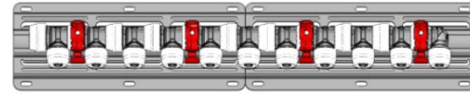
(分岐口数) 9口 (支持個数) 4個



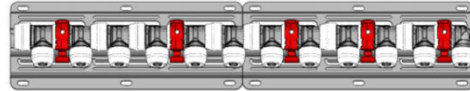
(分岐口数) 10口 (支持個数) 4個



(分岐口数) 11口 (支持個数) 4個



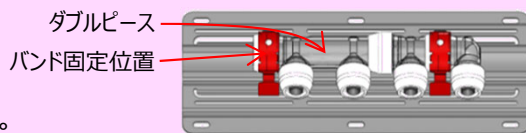
(分岐口数) 12口 (支持個数) 5個



※分かり易い様にバンドは朱色で表現しています。

バンド固定位置設定上の注意

- (1) 樹脂ヘッダー両端の分岐口の1つ内側で固定して下さい。
- (2) バンドの間の分岐口数が3口以内になるピッチで固定して下さい。
- (3) 保温材無ヘッダーの端部にダブルピース(2連ヘッダーピース)が来る場合のみ、樹脂ヘッダー最端部で固定して下さい。



5.施工上の注意

- (1) 樹脂ヘッダー及び専用架台に乗ること、蹴ること、重量物の積載などはしないで下さい。樹脂ヘッダーが破損する恐れがあります。樹脂ヘッダー及び専用架台の施工後に、踏まれたり重量物が置かれたりするなどの可能性がある場合は、現場管理者と相談の上、十分な注意喚起と養生の実施をして下さい。
- (2) 樹脂ヘッダーは専用架台で固定して下さい。専用架台で樹脂ヘッダー全体を支える構造となっています。専用架台を使用せず、樹脂ヘッダーの下地への直固定や、樹脂ヘッダーを浮かせて設置する事は避けて下さい。
- (3) 金属プレートを連結する際は、段差が2mm以内となるように設置して下さい。
- (4) バンドは保温材無ヘッダー用と保温材付ヘッダー用で異なります。必ず専用のバンドで固定して下さい。
- (5) 樹脂ヘッダー横入れ口側に止水キャップを使用した樹脂ヘッダーの保温材が金属プレートからはみ出す場合があります。その際は、樹脂ヘッダー本体は金属プレートからはみ出さないように注意して固定して下さい。
- (6) ビスの下穴加工やビス固定の際は、樹脂ヘッダーに傷をつけないよう、注意して下さい。
- (7) バンドを必要以上に強く押さえつけたり、無理に広げたりしないで下さい。バンドが変形し、樹脂ヘッダーを保持できなくなる可能性があります。
- (8) バンドを押し付けて固定する際に、樹脂ヘッダーやパイプに傷をつけないよう注意して下さい。
- (9) バンドを取り外す際にはバンドが変形しないようご注意ください。
- (10) 異物侵入防止のため樹脂ヘッダーのパイプ接続口に取付けられた防塵キャップはパイプ接続直前まで外さないで下さい。
- (11) 樹脂ヘッダー及び金属架台に防蟻剤や防腐剤等の薬品が掛からない様に注意して下さい。付着により劣化、損傷する可能性があります。
- (12) パイプ接続完了後、必ず水圧又は気密試験を実施し、接続各部に漏れがないか、必ず目視確認を行って下さい。
- (13) プッシュマスター樹脂ヘッダー以外に対して専用架台を使用することや、使用後の専用架台を他の施工現場で再度使用することはしないで下さい。
- (14) プッシュマスター樹脂ヘッダーには、プッシュロックⅡのヘッダー部材や継手類は接続出来ません。必ず、プッシュマスター製品のみを使用して下さい。
- (15) 樹脂ヘッダーへのパイプ接続に際しては、カタログに記載する『パイプ接続手順』、『接続作業・その他注意』、『施工及び保管上の注意』に従って作業を行って下さい。